

平成29年度 第1学年 授業改善推進プラン

	課題(児童の実態、学習状況、指導の実態)	改善プラン(課題の改善プラン、具体的手立て)
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひらがなやカタカナの習熟に個人差が見られる。</li> <li>・拗音、促音、格助詞の使い方に課題が見られる児童が多い。</li> <li>・全体に聞こえる声で発表したり音読したりすることに課題がある児童がいる。</li> <li>・自分なりの思いを伝えることはできるが、経験したことを順序よく説明することが難しい児童がいる。</li> <li>・読書を好む児童は多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み書きの基本となる文字を正しく覚え、しっかりと定着するように、朝学習や家庭学習で繰り返し練習する。</li> <li>・日頃の授業の中で文章を書く経験をさせ、正しい使い方を意識させる。</li> <li>・日々の授業の中で、発言する機会を増やし、声を出すことに慣れさせる。</li> <li>・授業外の時間にも、人前で発表する機会を設け、人前で話すことに慣れさせる。</li> <li>・話し方の例を示し、安心して発表できるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数の合成・分解の定着が不十分で、簡単なたし算、ひき算で、指やブロックを使う児童がいる。</li> <li>・文章問題を自力で読み、解決することが難しい児童がいる。</li> <li>・学力の個人差が大きい。</li> <li>・算数に繋がる生活経験が不足している児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加法・減法の計算が確実にできるよう、算数の学習以外にも朝学習の時間に繰り返し計算練習に取り組ませる。</li> <li>・文章問題を図に示したり、ICT や算数ブロックやおはじきなどの具体物を使ったりして、学習場面を確実に理解できるようにする。</li> <li>・算数を実生活に生かす事が出来るという実感をもたせ、算数の学習に意欲をもたせる。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動を楽しむことができる。</li> <li>・活動を通して気づいたことを表現し、わかりやすく伝えることが難しい児童もいる。</li> <li>・人・もの・自然とかかわることが好きな児童は多いが、気づいた事に自ら深く探求しようとしたり、工夫したりすることに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動のねらいをきちんと示し、それらについて必ず振り返りを行う。友達と考えを交流させる時間を十分に確保し、気づいたことを共有する。</li> <li>・活動を繰り返し行う中で、よい工夫をしている場面を紹介し、価値づける。</li> <li>・児童がより興味や関心をもてるよう、教師側からの提示の仕方を工夫する。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく歌うことができるが、自分の声や友達の声聞きながら歌ったり、リズムに合わせて歌ったりすることが難しい児童がいる。</li> <li>・楽器の演奏経験に差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・斉唱で友達と一緒に歌う喜びを味わい、自分や友達の声意識してのびのびと歌うようにする。</li> <li>・リズム唱やリズム打ち、身体表現を通してリズム感を十分身につける。</li> <li>・鍵盤ハーモニカなどを使って、だれもが簡単な演奏をできるようにして、音を奏でる楽しさを味わわせる。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はさみやクレヨン、絵の具などの道具の使い方が未熟な児童がいる。</li> <li>・表現力や作業時間に大きな差が出ることもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造形表現の基礎(切る・折る・ぬる)をしっかりと身につけさせるために、手先をたくさん動かす題材を設定する。また、扱いやすい身近な材料を使って、さまざまな方法で自由に表現する経験を積ませる。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集合や整列など、集団行動の基本が少しずつ身についている。</li> <li>・ゲームのルールを守り、楽しむことができる。</li> <li>・遊具などでの遊びの経験が不足している。</li> <li>・体力に差が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームのルールを児童の実態に合わせたものとし、わかりやすく掲示する。</li> <li>・結果よりも過程を大事にし、勝敗を素直に認め合う基盤を育てる。</li> <li>・ゲームでは作戦を立てる活動を取り入れる。</li> <li>・なわとび検定や遊具を使った日常の遊びを充実させ、体力づくりをする。</li> <li>・休み時間などの遊びを通して、ルールを守る大切さや体力向上に繋げていく。</li> </ul>
道徳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなと仲良くしたり、協力したりすることの大切さはわかっているが、集団の一員としての自覚が乏しく、自分本位な行動に出してしまう児童が見られる。</li> <li>・あいさつや言葉遣いなど、人とのコミュニケーションの基本が身につけていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な場面で起こりがちな話題を取り上げ、児童が登場人物と気持ちを重ねて考えることができる教材を選定する。</li> <li>・授業で話し合ったり、考えたりしたことを日常生活で活かせるように、日常生活と重ねて振り返る機会を設ける。</li> </ul>